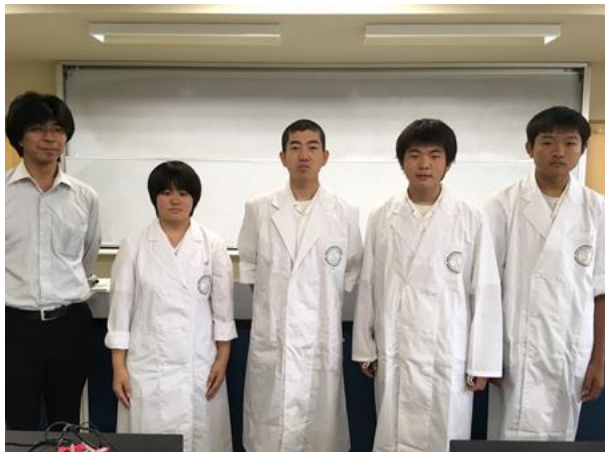


大曲農業高等学校 生物工学部のみなさんにインタビュー！



大曲農業高等学校 生物工学部のみな

さんは3年生2人、2年生1人、1年生1人の計4人で活動をしています。

研究のスタートは、クニマスが発見された

次の年の2011年から。この研究は

代々、生物工学部の中で受け継がれて

研究して分かったことは何ですか。

田沢湖にクニマスをもどすためには水のことだけではなく、他にもえさのことや、他の生物についても研究しなければならないことが分かりました。そのためにわたしたちはそれぞれの研究を進めているところです。

どんな思いで研究に取り組んでいるのですか。

田沢湖に(クニマスがもどるために)必要なことを

さが探したいと思って取り組んでいます。

自分たちの活動は地元に応^{えい}じょうにどんな影響を与えていると思いますか。

地元の人々から期待されているから、それにこたえていきたい。

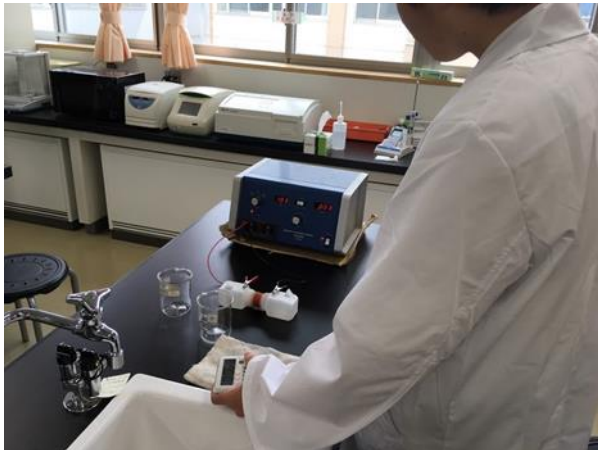
そして、地域の活^{かっ}せい^かにつなげたいと思っています。

研究を通して感じたことは何ですか。

最初は「環^{かん}き^{ょう}はすぐにもどるだろう」くらいの気持ちでしたが、そうかんたんにもどるもの

ではなく、一度こわしてしまった生^{せい}たい^{けい}系をもどすのは難^{むず}かしいということが分かりました。

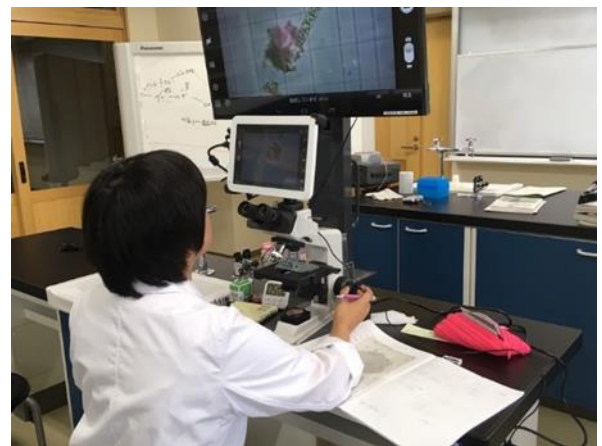
こんな研究をしています！



田沢湖の水に電気を流して、生き物がすめるようにする研究をしているよ！

今までの方法だと白い物質ぶっしつがたまってしまう
ていたんだけど、白い物質が出ない方法を
しんしゅう ながの 信州大学(長野県)から教えてもらったよ！

田沢湖に住んでいる微生物ひせいぶつの研究を
しているよ！クニマスだけでなく他の微生物
もいなくなってしまったのです。
微生物から、クニマスが生きていける環
境について分かるかもしれない！



ウグイの体のつくりの研究をしているよ！
今も田沢湖に住んでいるウグイを調べることで
クニマスの里帰りにいかせるのではないかな？

